

# 10 デジタル

---

基本情報



【年齢】  
45歳  
【出身地】  
埼玉県さいたま市  
【転出元】  
埼玉県さいたま市  
【前職】  
コールセンター勤務  
【活動時期】  
R5.11~R6.10

協力隊に応募したきっかけ

地域おこし協力隊に応募したきっかけは、地方創生に貢献したいという強い思いからです。私は長年のコールセンター管理経験を通じ、在宅ワークが地方でも可能であり、地域活性化に役立つと考えるようになりました。長沼町を訪れた際、その住みやすさとアクセスの良さに魅力を感じ、在宅ワークの拠点として最適だと判断しました。百名の関係人口を構築し、町の魅力を広げる活動に貢献したいと考え、応募を決意しました。

今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負としては、長沼町で在宅ワークセミナーを開催し、地域の方々に新しい働き方を広めることを目指しています。また、スムーズの商品開発にも挑戦し、地元の特産品を活用した新しい商品を作り、町の魅力を発信したいと考えています。任期後は、在宅ワークを通じて構築したネットワークをさらに拡大し、地元産業の活性化に寄与できる事業を継続して進めたいです。地域に根差した貢献を続けることが目標です。

活動内容

●長沼町在宅ワーカー養成プロジェクト

このプロジェクトは12月に開催され、長沼町の町民を対象に在宅ワークのスキルを提供するものでした。データ入力やテレアポなどの研修を通じて、特別な資格がなくても自宅で仕事ができるようサポートしました。これにより、町民の収入増加と地域の活性化を目指しました。



●長沼町主催スマートフォン教室

この教室は10月に開催され、町民向けにスマートフォンの基本操作やアプリの活用方法を学ぶ場でした。私は講師として参加させていただき、日常生活で役立つスマートフォンの機能を町民の皆さんに伝えることができました。これにより、地域全体でデジタルスキルの向上に貢献できたと感じています。



●町内でのイベント出店（お祭り、居酒屋営業など）

長沼町地域おこし協力隊員同士で協力し合い、町内のお祭りやイベントに積極的に参加しています。また、隊員たちの自発的なアイデアに基づき、地域住民との交流を深める場として、一日限定の居酒屋営業なども実施し、町の活性化に貢献しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス(個人)) tokudomese@gmail.com  
(電話番号(職場受付時間:10:00~15:00)) 050-5242-5019

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(Instagram) [https://www.instagram.com/maoi\\_tokudome/](https://www.instagram.com/maoi_tokudome/)



## 基本情報



【年 齢】  
47歳  
【出身地】  
東京都板橋区  
【転出元】  
北海道札幌市  
【前 職】  
IT業  
【活動時期】  
R5.10～（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

私は、製造業とWeb制作の経験を活かし、北海道南富良野町の豊かな資源をデジタル発信で支援し、地方創生に貢献したいという思いから、地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

南富良野町のデジタル発信と活性化に貢献し、地域の魅力を広めることを目指しています。

任期後は、この経験を生かし『ビジョンマップ』を作成して次世代の協力隊員を支援し、生成AIを活用したデジタルサポートで地域企業をサポートする事業を展開していきたいです。

## 活動内容

## ●SNSなどの情報発信

南富良野町の魅力を広く伝えるため、SNSを活用して季節のイベントや地域の情報を発信しています。また、南富良野町の協力隊メンバーを紹介する特設サイトも制作し公開中です。これにより、地域の方々や協力隊の活動をより身近に感じていただけるよう努めています。



南富良野町  
地域おこし協力隊

## ●スマホ教室

地域の方々がスマートフォンをより便利に使えるよう、スマホ教室を開催し、基本操作からSNS活用、セキュリティ対策まで幅広くサポートしています。また、スマホ教室専用の特設サイトも開設し、スマホの使い方や安心して活用するための情報を提供しています。



## ●生成AI講座

地域の方々や事業者向けに生成AI講座を開催し、AIの基本知識から具体的な活用方法までを分かりやすく解説しています。業務効率化やコンテンツ制作に役立つ知識を提供し、AI技術を活用した新たな可能性を地域で広げていくことを目指しています。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
（メールアドレス（個人））nanpu.nakayan.digital@gmail.com  
（電話番号（個人））090-2810-9899

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
（Instagram）[https://www.instagram.com/nanpu\\_nakaya/](https://www.instagram.com/nanpu_nakaya/)  
（ブログ）<https://note.com/digisapo/>

## 基本情報



【年 齢】  
45歳  
【出身地】  
北海道標津町  
【転出元】  
東京都八王子市  
【前 職】  
社内ITシステム管理  
【活動時期】  
R5.12～

## 協力隊に応募したきっかけ

これまでのキャリアで積み重ねてきたスキルや専門知識を、新たなプロジェクトやチームで活かす機会であると考え、また、地元に近い企業での活動は地域社会への貢献を果たす素晴らしい機会と捉え、地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域の若い世代の成長を支援することによって、地域社会への貢献へつながればと思います。

また、地域の未来を担う若者たちとともに、持続可能な活気ある会社にしていきたいです。

## 活動内容

## ●株式会社k-Hackが受注する案件のディレクション業務

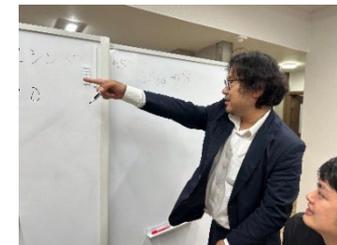
地域のスタートアップ人材を育成するために釧路市が市内経済団体、金融機関との共同出資により立ち上げた株式会社k-Hackと連携し、同社が受注する大手企業向けのWebサイト、業務システム等の開発業務の進行管理及び人材育成を担っています。

各メンバーのスキル状況を把握し、最適な開発環境を整え、首都圏をはじめとした企業からの受注案件による実務経験を通して若手人材の成長を促進しています。

これまでの1年間で、若手メンバーの成長を見守りながら、彼らが新たな挑戦に向かう姿を見てきました。彼らの成長は、チーム全体の活力となり、次の世代を育てる重要な役割を果たしています。

今後も、若手メンバーが自分のスキルを最大限に発揮できる環境を提供し、自信を持って次のステップに進めるよう、引き続き支援を続けていきます。

これからも、k-Hackが釧路市のスタートアップ人材の成長と挑戦の場であり続けるよう、全力を尽くしていきます。



## 連絡先

## 【メディア等の取材連絡先】

釧路市産業振興部産業労政課

(メールアドレス) sho-shougyourousei@city.kushiro.lg.jp

(電話番号(個人)) 0154-31-4548

基本情報



【年齢】  
58歳  
【出身地】  
岩手県久慈市  
【転出元】  
宮崎県宮崎市  
【前職】  
貼箱デザイン・印刷会社  
【活動時期】  
R2.6~R7.3

協力隊に応募したきっかけ

出身は岩手県久慈市です。東日本大震災が起こり、九州の宮崎市へ一人で移住しました。移住の理由は他にもありましたが「雪の降らない所」を探した結果、宮崎に決めました。宮崎市では清掃会社に勤務したりお菓子箱のデザイン、チラシや新聞広告の作成等をしていましたが、コロナの感染状況がひどくなり、仕事にも影響が出始めた頃に以前お世話になった方から協力隊の事を知り応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

この一年でコロナは5類に移行し、活動範囲も今までよりも広がっているように感じます。ドローンの活動もイベントや風景撮影だけでなく、全国的に増えている「ナラ枯れ」という病気樹木の状況撮影、新しく完成した鳥居や施設の空撮等、まさにドローンにピッタリな依頼もありました。任期後の目標は「IT講師になろう」ですが、まだ講義が1月から始まったばかりで、本当になれるのかわかりませんが、プログラミングの勉強を続けていきます。

活動内容

●ふるさと納税の画像作成やイベントのチラシ作成

もともと印刷関係の仕事をしていたので、画像編集やDTP(組版)など文字原稿やイメージを伺って実際のデータを作成する作業は好きな仕事でもあります。実際に色々な部署から依頼が来れば大変やりがいが出ますし、自分の経験が普代村の役に立つことは嬉しいことです。



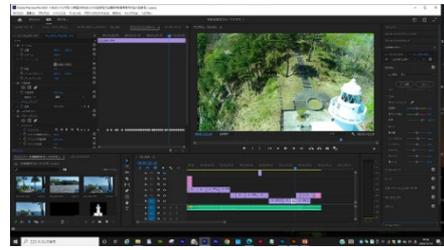
●ドローンによる普代村の空撮(ナラ枯れ)

ドローンの撮影は楽しくもあり、ハイリスクでもあります。今まで海から灯台を撮影したり、桜の真上から撮影など、ドローンの可能性はこれからも広がっていくと思います。また、全国で広がっている「ナラ枯れ」の現状把握は地理的な状況(山や崖など)ではドローンに任せるのが一番です。



●映像編集

ドローンの撮影データを動画にまとめるために、動画編集ソフトを利用していますが、やってみると楽しくもあり、難しくもありません。時間管理(何分にするか)や動画クリップを組み合わせ、見る人にいかにわかりやすく伝える、訴求力の勉強にもなります。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) nakano-h@vill.fudai.iwate.jp  
(電話番号) 0194-35-2114(役場政策推進室)  
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
<https://www.facebook.com/fudai.iwate/> (左QR)  
<https://twitter.com/fudaifan> (右QR)



## 基本情報



【年 齢】  
28歳  
【出身地】  
長野県飯田市  
【転出元】  
長野県飯田市  
【前 職】  
システムエンジニア  
【活動時期】  
R6.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

システムエンジニアや塾講師の経験から、自分にマッチする職業を探していて、遊佐町の協力隊に行きついた。デジタル人材育成マネージャーとして、子供たちと関わりながらプログラミングのスキルも活かせる。同時に、海に近い場所で生活できて良いなと思ったのがきっかけ。

## 今後の抱負・任期後の目標

遊佐町の子供たちにとって、  
・デジタル技術と触れ合い、ICTに慣れる場  
・技術と本気で向き合い、成長を目指す場  
この二つが不足していると考えている。  
子供たちの「やりたい!」という思いには目を見張るものがある。この思いを、「田舎だから仕方ない」と無駄にしないでいいような、ICT教育の拠点づくりや、デジタル教育への協力関係づくりが私の仕事と考えている。

## 活動内容

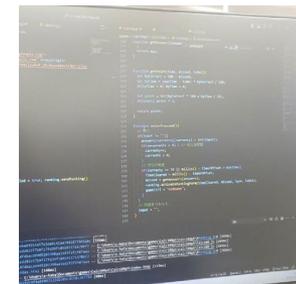
## ●子供向けデジタル学習企画立案・運営

1, 入門的にデジタルに触れて楽しむ企画  
2, 先進的に本気でデジタル技術に向き合う企画  
この2本を柱にして、ICT学習に取り組める企画を立案・運営している。例として、“micro:bitでロボットカーの操縦に挑戦する”、“音楽作成ソフトを使って合奏に挑戦する”など。  
夢中になっている子供たちの目の輝きを見ることを目標として、日々準備を行っている。



## ●エンジニアリング的活動

遊佐町の協力隊HP“来ちゃいなよ遊佐町”の運営・保守作業や、他隊員の業務効率化を目指したDX活動など、遊佐町協力隊にかかわるエンジニアリング的な活動を実施している。今後教育分野にも幅を広げ、教育関係のDXやソフトウェア開発などを行いたいと考えている。



## ●スマホ道場運営

前任隊員が企画・運営している「スマホ道場」(高齢者と1対1でスマホの相談に応じる企画)の運営を協力して行っている。週2回程度、町内各所で実施している。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス(個人)) s-hata@yuzamachi.com  
(電話番号(遊佐町役場総務課 ICT推進室)) 0234-72-5893

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(遊佐町協力隊HP) 来ちゃいなよ ゆざまち <http://yuzamachi.com>

## 基本情報



【年齢】  
34歳  
【出身地】  
宮城県岩沼市  
【転出元】  
宮城県仙台市  
【前職】  
携帯ショップスタッフ  
【活動時期】  
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

首都圏で仕事をしていましたが、結婚・子育てを機に宮城県に帰省。仕事に悩んでいたところ、妻の地元である中山町で地域おこし協力隊を募集しているという話を聞く。業務内容が過去の経験を活かせ、かつ子育てについても、両親が近くにいるという安心感もあり、応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

R7.3に任期が終了するため、4月から変わらず生活ができるように仕事の準備。  
任期後については、WEB制作やデザインを仕事にすることが目標。また、現在行っているスマホ教室のような、地域のデジタルディバイドを少しでも解消できるような活動をしたいと思っている。

## 活動内容

### ●スマホ教室・スマホよろず相談所

【スマホ教室】基本操作ではなく、よく使われるアプリなどをテーマに説明と操作方法を行っている。  
月に1回開催。予約制。最大15名。配布資料あり。  
【スマホよろず相談所】スマホに関する個別相談。故障相談やキャッシュレス、明細の電子化など、多岐にわたる。  
原則月・水・金の10:00～16:30。予約不要。



### ●制作(イラスト・チラシ・WEBサイトなど。)

所属している課以外からの業務依頼。  
イベントチラシやWEBサイト、広報掲載の手話イラスト、パンフレットなどの制作を行っている。



### ●情報発信

インスタグラムを利用して、中山町の情報発信を行っている。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス(個人or職場)) [kt.kc1221@gmail.com](mailto:kt.kc1221@gmail.com)  
(電話番号(個人or職場)) 080-6030-5754

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
(インスタグラム) QRコードも可



## 基本情報



【年 齢】  
26歳  
【出身地】  
大阪府八尾市  
【転出元】  
埼玉県さいたま市  
【前 職】  
組み込み系SE  
(株式会社ワコム)  
【活動時期】  
R5.10～  
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

SEに就くものの、高度すぎる専門職に将来性を感じず退職しました。

その後、世界を旅するうちに「都心に住む人を対象にDIYを通じて『自立共生』を学べるコミュニティ」を作りたいと思うようになりました。そのために全国のコミュニティーをめぐる中で、相模原市にある「廃材エコヴィレッジゆるゆる」へ滞在し、相模原市の地域おこし協力隊の存在を知って応募しました。

現在は相模原市の中山間地域を対象に活動しています。

## 今後の抱負・任期後の目標

1. DIYを通して中山間地域でのビジネスやライフスタイルの支援をしたいと思っています。例えばDIYでキッチンカーを作る、穴の空いた服をダーニングで治す、電子工作でIoT機器を作る等。シェア工房やワークショップを通して実現したいです。
2. 空き家活用プロジェクトとして誰でもできるような遺品整理や小規模リフォームなどを行い、空き家の活用を促していきます。
3. 出張たこ焼き屋を通して世界に相模原市の魅力を発信し、関係人口を創出するきっかけになればと考えています。
4. 1～3とうまく連携させた地域密着型のゲストハウスを作りたいです。特に都心から来る人をターゲットにしたいです。

## 活動内容

### ●「デジタル機器なんでも相談会」

「デジタル機器なんでも相談会」は、地域あるいは地域住民へのデジタル化支援を通じたデジタルデバイドの解消を目指している。相談者の個別のお悩みきめ細やかに対応することにより、相談者の評価も高く、2024年1月より10ヶ月間の相談実績はのべ250名以上となっている。



### ●地域産食材を使ったたこ焼き出店

銀だこ焼き修行5年の経験を生かし、相模原市の藤野地区の特産品であるゆずを使ったたこ焼きを開発。野外イベントで定期的に試食販売をして相模原市の魅力を発信している。ゆずだけでなく、地域産の小麦粉やネギなども使用している。

またキッチンカーなどの野外出店にまつわる保健所や各イベントでの売り上げデータのまとめを行うなど、ビジネス面での支援も行っている。



### ●電子工作の支援

バリアフリープロジェクトとして、藤野地区在住の高校生がコミュニケーションロボットの開発に取り組んでおり、組み込みシステム開発に協働で取り組んだ。

また夏休みの子供企画として「電子工作クラブ」の先生を実施。参加者はテーマ別にプログラミングを用いた工作物を作り上げた。子供のころからテクノロジーの楽しさに触れることでビジネスや起業の可能性を広げていきたい。



## 連絡先

### 【メディア等の取材連絡先】

- ・メールアドレス（個人）ryoma@morilab-fujino.jp
- ・電話番号（個人）080-4778-2883 / 電話番号（共用）080-3428-9790

### 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

- ・Instagram : [https://www.instagram.com/ryoma\\_nakajima](https://www.instagram.com/ryoma_nakajima)
- ・森のイノベーションラボFUJINO（活動拠点） : <https://morilab-fujino.jp/>

## 基本情報



【年 齢】  
35歳  
【出身地】  
大阪府堺市  
【転出元】  
兵庫県西宮市  
【前 職】  
会社員  
【活動時期】  
R4.5～R7.4

## 協力隊に応募したきっかけ

都市部での子育てに疑問があり、地方で周囲の方の力も借りながら「みんなで子育てできる環境が欲しい」と考えていた時に、コウノトリの野生復帰など自然と人の共生を実践してきた豊岡に興味を持ちました。この目でその自然を見てみようと思いたち、冬の豊岡を訪れました。現在住んでいる竹野地区の荒れ狂う冬の日本海を目の当たりにし、「自然の厳しさ」を肌で体験できる環境は、きっと子育てにも好影響があるだろうと強く惹かれました。

伝統工芸など地域文化にも興味がありましたが、デジタルで地域課題の解決を目指す豊岡スマートコミュニティ推進機構（TSC）の取組みを運良く紹介頂き、これまで磨いてきたスキルを活かす方向で応募することができました。

## 今後の抱負・任期後の目標

元々持っているデジタルスキルと、プロジェクトを進めるうえで培ったマネジメントスキルをいかし、市民が地域課題の解決にデータやデジタルツールを活用するための支援や、自治体のDXに関わる仕事をしたいです。また豊岡など地方で子育てする人たちの支援にも興味があり、自分の移住・子育て経験を活かした取組みを計画中です。

## 活動内容

### ●デジタルを活用した交通安全教室

私が活動している豊岡スマートコミュニティ推進機構（※1）では、交通事故のない社会を実現するため、市内の小学校や地域コミュニティ組織と連携しデジタル技術を活用した交通安全教室を実施しています。

※1 豊岡市と但馬信用金庫が共同運営する団体。  
代表理事は豊岡市長。



小学生や高齢者が自らのヒヤリハット経験をデジタルマップ上に入力し、対策を話し合うワークショップを市内の小学校や地域コミュニティと連携し実施しています。

参加者数×2～3個の情報が入ったヒヤリハットマップを作成し、急ブレーキ発生箇所や平均走行速度など自動車の走行データや、過去の交通事故発生箇所のオープンデータを重ね合わせ地域の危険箇所を把握します。

2024年度にはイーデザイン損害保険株式会社（取締役社長 桑原 茂雄）の「共創する自動車保険 &e（アンディー）」の寄付活動「+まち（ぷらまち）※2」に応募し、採択されました。

※2「事故のない世界そのものを、お客さまと共創する。」をミッションに掲げ、地方自治体から募集した「安全な交通環境・社会の実現」につながる企画に寄付をする取組み。24年度の応募数：6 採択数：2（豊岡市、滋賀県日野町）

【参考URL】

<https://www.edesign.net/ande/safeworld/puramachi/>



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

豊岡市DX・行財政改革推進課 代表：0796-21-9146

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

TSC HP <https://www.toyooka-smart-community.org/>

X [https://twitter.com/TSC\\_toyooka](https://twitter.com/TSC_toyooka) Toyooka iDO <https://toyooka.adalo.com/ido>

## 基本情報



【年齢】  
25歳  
【出身地】  
岡山県岡山市  
【転出元】  
岡山県岡山市  
【前職】  
システムエンジニア  
【活動時期】  
R5.4~R8.3(予定)

## 協力隊に応募したきっかけ

新卒で勤めていたシステム会社を辞め、今後のキャリアに悩んでいた際に、知り合いの紹介で『おためし協力隊』として久米南町を訪れたことがきっかけです。町の方と交流し『よく来たな!』とヨソモノの私を温かく迎え入れてくださり、農村部でゆったりと暮らすことも楽しい!と感じました。そして、この地域で役立つ人間になりたい・色んな経験を積みたいと思い、協力隊に応募しました。町内で前例がない分野&自身の人生経験も少なく不安もありましたが、全ての仕事が未開拓で自ら挑戦できることが魅力的です。久米南町を選択したことは偶然ですが、色んな方とのご縁と、協力隊期間の経験を大切に、今後も久米南町で暮らしていきたいと思えます。

## 今後の抱負・任期後の目標

中山間地域と都市部を比較すると、大きなデジタルデバイド(情報格差)があります。町民の方のニーズを実現したり、悩み事を解決する中で、デジタルテクノロジーに触れるきっかけを作り、幅広い世代の役に立つことが目標です。また、中山間地域での暮らしを最大限楽しむため、半農半Xの暮らしに挑戦しています。ITと農業(稲作)の充実した暮らしを確立し、テレワーカーやフリーランスといった外部人材を誘致するためのモデルになりたいです。デジタル分野では、中山間地域は後進エリアですが、『人や生き方』にスポットを当てた時、新たな働き方と価値観が見つかる先進エリアへ。その第一人者になれるように、地域おこし協力隊として活動をしていきます!

## 活動内容

### ●常駐デジタル相談室

昨年の6月からスマホ・パソコンを中心とした『常駐デジタル相談室』を町内で週2回開催しています。延べ300件以上の相談件数の実績になりました。予約不要・無料の相談スタイルで、身近に・気軽に足を運んでいただき、多くの方にご好評いただいております。場合によっては出張訪問にもお伺いし、お悩みやトラブルの解決に幅広く対応しております。相談室での会話から、交流が深まったり、協力隊の活動に発展したりなど、町民の方々との意見交換の場にもなっています。



### ●小・中学校のデジタル活用プロジェクト

町内の小・中学校の『地域学習』でのプロジェクトにも関わっています。今年は中学生とデジタルスタンプラリーの実施を行い、町内外の人に楽しんでいただけるデジタルツールの発掘につながりました。小学校ではデザインソフトを用いてリアルタイム編集を行い、活発に意見交換をしながら、観光用の顔出しパネルを制作しました。子どもたちにとって、デジタルツールの便利さと、ワクワクさを伝える活動を目標にし、今後の授業にも関わっていきたくと考えています。



←小学校での授業の様子

顔出しパネルお披露目会→

### ●地域住民とのデジタルツールの活用

町内の方との交流の中で、デジタルツールの活用をしています。ドローンでの空撮やQRコードと連携した散策マップの制作など、デジタルの利便性と面白さを感じていただきました。また、商工会とも協力体制を作り、事業者様向けにデジタル活用支援を始めていくところです。デジタルツールを使用することで、地域の新たな魅力の発見につながる可能性を感じることができました。今後もニーズを探り、地域の方と一緒にデジタルツールの活用に挑戦していきたくと考えています。



←ドローンでの空撮

アクセスマップの作成→

## 連絡先

### 【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス(個人)) kumenan.ikeuchi@gmail.com  
(電話番号(個人)) 080-2931-8622

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

## 基本情報



【年 齢】  
30歳  
【出身地】  
岡山県岡山市  
【転出元】  
岡山県玉野市  
【前 職】  
介護職員  
【活動時期】  
R4.9～R7.8

## 協力隊に応募したきっかけ

私は以前から「緑豊かな土地で家を建てたい」という夢があり、工務店の方と一緒に土地を探して歩いた結果、高梁市に辿り着きました。そして高梁市の高齢化率が高いことを知り、介護現場のために何か力になりたいと思いました。もともと介護職で介護DXに関心があり、介護の現場をもっと働きやすいものになりたいという想いも強くあったので、自分の中のミッションと地域の課題がリンクした瞬間だと感じました。介護DXを通してより良い未来を作るためには、官民が一体となって進めていくことが必要です。私は、そうした官民の橋渡し役になりたいと思い、協力隊に応募することを決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在行っている介護DX推進活動をさらに進めたいと考えています。具体的には、高梁市で行政と一緒に実践してきた取り組みを他の自治体でも実施できるよう、展開していきたいと考えています。高梁市の介護業界が直面する人材不足や職員の高齢化などの課題を変革のチャンスと捉え、課題解決を通じて、中山間地域のモデルとなるように取り組んでいきます。そして、そのモデルが協力隊という形で全国へ普及すれば、高梁市と近い課題を持つ自治体の介護現場の課題解決の糸口になると思います。協力隊制度による全国展開は、日本が抱える課題に対し、大きな可能性を秘めていると思います。これからも高梁市との縁を大切に、未来のために、自分が今できることを全力で取り組んでいきます。

## 活動内容

## ●高梁市内の介護事業所への個別のICT支援

介護記録ソフトの運用やLIFEの設定方法、PCの基本的な操作など介護事業所へ直接訪問し、問題解決を行います。自分の知識だけでは解決できない場合はベンダーへ問い合わせを行い、解決まで関わります。



## ●行政との政策立案

自治体で取り組む介護現場の生産性向上・業務効率化に向けた政策の立案を行政とともに検討します。他市の事例や先進的な取り組みを行っている自治体の情報などを助言させていただき、高梁市ではどのように取り組むことができるかを検討します。



## ●行政・介護事業所同士のネットワーク構築

高梁市内の介護事業所の連携強化と介護分野における地域一体型組織構築の為、6ヶ月に1回「高梁市介護事業者情報交換会」を実施。介護現場の課題を地域の課題として捉え、行政と共有することで市として本当に必要なことを検討します。現在はチャットツールでも繋がっており、各事業所の業務効率化の取り組みや加算取得の取り組みなどフレキシブルに意見交換を行っています。



## ●自己研鑽

介護事業所へのサポート実施に欠かせない自己研鑽はNPO法人タダカヨが行う無料PCスクールを受講。現在は理事を務める。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】個人

メールアドレス：[kazunyan.ak@gmail.com](mailto:kazunyan.ak@gmail.com) 電話番号：080-1928-1266

【活動の様子を発信しているSNS】

(Facebook)

<https://www.facebook.com/kazuya.miyazaki.dx>



## 基本情報



【年齢】  
25歳  
【出身地】  
熊本県熊本市  
【転出元】  
熊本県熊本市  
【前職】  
Webマーケター  
【活動時期】  
R5.7～

## 協力隊に応募したきっかけ

知人からの紹介で宇城市のeスポーツ×デジタル拠点施設『うきのぼ』を訪れたことがきっかけです。元々eスポーツの選手として活動しており、その知識や経験を生かした仕事をしたいという想いがありました。選手としての経験を基にあらゆる世代の方にeスポーツの魅力や可能性を伝えたいと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在は地域おこし協力隊とプロeスポーツ選手の二刀流で活動しています。熊本県を拠点に活動するプロeスポーツチーム「Saishunkan Sol 熊本」に加入し、協力隊としても更に活動の幅を広げていきたいと考えています。地域の小中学校をまわったの講話・eスポーツ体験も規模を広げて行きたいです。地域の人に応援していただけるプロeスポーツ選手を目指します。

## 活動内容

### ●eスポーツ×デジタル拠点「うきのぼ」施設運営

2023年1月にオープンした熊本県内初のeスポーツ×デジタルの拠点「うきのぼ」  
2024年9月までにイベントを195回開催し、約20,000人が来場しました。  
子供から高齢者まで幅広い世代に利用していただいています。



### ●高齢者対象の「スマホ教室・スマホ相談」

宇城市の高齢者を対象にした「スマホ教室・スマホ相談会」を開催しています。毎月通ってくれている方は、今ではスマホを使いこなせるようになりました。お菓子やコーヒーを差し入れていただくこともあり、高齢者の方との交流も楽しい時間です。



### ●地域の子供達対象のeスポーツ体験会

地域の小中学校をまわり職業講話、eスポーツ体験会を開催しています。ゲームをキッカケにコミュニケーション能力や集中力をつけてほしいという狙いがあります。将来の職業選択など子供達の未来に貢献できれば嬉しいです。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
メールアドレス（職場）[uki.espo@gmail.com](mailto:uki.espo@gmail.com)  
電話番号（職場）090-7780-6366

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
（うきのぼHP）<https://www.ukinoba.com/>

個人X(旧Twitter)



## 基本情報



【年齢】  
31歳  
【出身地】  
神奈川県海老名市  
【転出元】  
神奈川県相模原市  
【前職】  
PC修理  
【活動時期】  
R5.11~R8.10

## 協力隊に応募したきっかけ

以前から地方移住には興味があり、全国様々な自治体を調べたり実際に足を運んだりしていました。中でも熊本県は移住者に対する熱意が高いと感じていて、注目度の高いエリアでした。

更にはゲーム好きが高じて独学でCGを学んでいたため、「地方でCGにまつわるお仕事ができないだろうか」と考えていたところ、天草でCGにまつわる協力隊の募集があることを知り、すぐさま応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

「天草のクリエイター人口100人突破」が目標です。天草には若者人気の高いゲーム・アニメ産業が必要とされています。まとまった数のクリエイターがいれば作品作りが活発化して、天草が「デジタルアートの島」として全国から注目され、産業の創出に繋がるためです。

そこに向けて市内のクリエイター人材育成や市外のクリエイター誘致活動に取り組むことで、天草のクリエイター人口増加を目指して活動しています。

## 活動内容

### ●クリエイター人材の育成

天草市内の中学校でCGの作り方を実際に体験してもらう授業を実施しています。

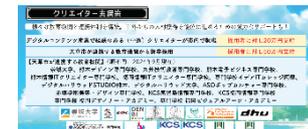
身近にあるゲーム・アニメで使われているCGを自分でも作れることを知ってもらい、クリエイターを志すキッカケとなるようにしています。



### ●九州圏内の教育機関と連携体制を構築

九州各所の各教育機関を訪問し、連携体制を構築する業務を実施しています。

連携教育機関が増加することでクリエイターが天草へUターンする可能性を上げる狙いがあり、およそ2か月で20校を訪問し、9校と連携しました。



### ●その他、SNS運用や企業誘致事業など

デジタルアート天草のSNS運用（主にinstagram）、企業誘致事業の補助、一般向け人材育成講座の準備及び当日運営、就職説明会への出展などなど、多岐にわたる業務があります。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
（メールアドレス（職場））nakamura\_r@digital-art-amakusa.or.jp  
（電話番号（職場））0969-24-8882

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
（instagram）[https://www.instagram.com/digital\\_art\\_amakusa/](https://www.instagram.com/digital_art_amakusa/)



基本情報



【年 齢】  
62歳  
【出身地】  
山口県下関市  
【転出元】  
熊本県熊本市北区  
【前 職】  
SE  
【活動時期】  
R6.3～ R6.9  
(3年度目)

協力隊に応募したきっかけ

前職の仕事で当村を訪れるたび、球磨川、市房山などの自然と村民の優しさにふれ、定住を意識するようになり協力隊での活動を希望した。

協力隊での活動を通じ、村の文化、歴史、地理を理解すること、協力してイベントなどを実施することで、村民との信頼関係の構築に役立つと感じたから。

今後の抱負・任期後の目標

特産品等をオンラインショップやふるさと納税と関連付け拡販を行っていく際に、村内の生産者や高齢者と交流を深める中で自分の存在を認識していただくことができた。

任期後も水上村での居住を前提に、何らかの形で事業を起こすか、村近郊の地域を含め仕事を探していきたい。

活動内容

● 宿泊助成クーポン発行・管理業務アプリの作成

昨年度に作成した宿泊助成クーポン発行・管理業務アプリの本年度対応としての修正を行い、新たに宿泊種類（観光、合宿、イベント）による集計を行うことで、水上村でのスポーツイベントや合宿誘致の参考となる資料を作成。



● ECサイト、ふるさと納税による特産品の拡販支援

昨年度から水上村のECサイトの更新およびふるさと納税返礼品の商品登録を行って来たが、本年度から出荷元の物産館従業員に対し、データ等の更新を行えるようにオン・ジョブ・トレーニングによる指導中。



● サテライトオフィス施設管理およびワーケーション利用推進

村で管理するサテライトオフィスに常駐し、施設の維持管理を行う。また、村内2か所のサテライトオフィスの有効活用を推進するため、利用形態や利用者への情報発信の方法、村内事業者との協力依頼の方法などを調査中。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】  
(メールアドレス) [mitoda@vill.mizukami.lg.jp](mailto:mitoda@vill.mizukami.lg.jp)  
(電話番号) 0966-44-0312 (水上村 地方創生推進課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

## 基本情報



【年齢】  
44歳  
【出身地】  
神奈川県川崎市  
【転出元】  
京都府京都市  
【前職】  
美術ライター／編集者  
【活動時期】  
R6.4～R9.3

## 協力隊に応募したきっかけ

大分市文化財課の「デジタルアーカイブの運用・利活用」という変わった募集が、自分が持っている興味・技術・経験と重なる部分が多かったからです。

また、コロナ禍になって以降、京都・東京の他に別府にも活動拠点を持つようになったのも大きいです。芸術文化に関わる仕事をしていると、抽象的で大きなフレームで人や物やことを理解しがちですが、そのなかには個人の営みや小さな文化・風土の積み重ねがあり、そういった事象と具体的に接する機会が欲しいと思っていました。

## 今後の抱負・任期後の目標

「大分市デジタルアーカイブ～おおいたの記憶～」は遠い過去の歴史だけでなく、現在進行形の歴史にも目を向け、収集するという主旨で運用しています。その意味でも、できるだけ多様な人たち（国籍、性別、趣味など）を取材し、個人の集積としての「おおいたの記憶」をつくっていきたいです。

また、いつか九州を拠点とするアート&カルチャーメディアを立ち上げたいと思っています。こういった情報発信が東京などの都市部に偏っており、その土地に住む人たちが自分自身について表現するための「声」をしばしば持たないことを疑問に思ってきました。当事者の主体性と客観性の双方をあわせてメディアをつくっていきたいです。

## 活動内容

## ●「大分市デジタルアーカイブ～おおいたの記憶～」の運用・宣伝

2024年6月より、公式Instagramの運用を開始。週3回ほどの更新で、歴史に関するトリビアやイベントレポート、大分市にお住まいの方のインタビューなどを制作・発信しています。



## ●デジタルアーカイブを用いたイベントの企画・運営

公式インスタの運用開始にあわせて、ノベルティのオリジナルステッカーを2000枚制作し、大分市内各所で配布しています。名刺よりもキャッチーで、取材や仕事で自己紹介するときお渡しすると喜ばれるのも嬉しいです。

また、10月末には文化財課主催の「第23回大友氏遺跡フェスタ」でデジタルアーカイブにからめたトークイベントを行いました。



## ●オープンデータ化された文化資源情報の利活用の促進

市有形文化財の《御城下絵図》をTシャツやサコッシュのデザインに使っていただいたことがありました。このほかにも、新築マンションのロビー部分での歴史展示コーナー制作・設置についての問い合わせもあったり、想像以上にさまざまな用途に用いられています。



## 連絡先

## 【メディア等の取材連絡先】

taisuke\_shima@hotmail.com

## 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

「おおいたの記憶」公式Instagramはこちらです→



## 基本情報



【年齢】  
37歳  
【出身地】  
鹿児島県鹿児島市  
【転出元】  
福岡県福岡市  
【前職】  
web制作  
【活動時期】  
R5.1～

## 協力隊に応募したきっかけ

高校卒業後福岡の都心部で働く中で、今後の人生設計を考えた時に都心部から離れた自然を感じられる土地で暮らしたいと考えたのが最初のきっかけです。  
また、地方にはチャンスが多く眠っていると感じており、今までの仕事で培ってきたスキルを活かし地域活性化に携わりたいと思い協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域おこし協力隊として、まずは自分の写真、映像、デザインといったスキルをさらに磨き、それを軸に地域の魅力を伝える活動に取り組んでいきます。西都市の自然や歴史、文化を新たな視点で切り取り、より多くの人にこの地の素晴らしさを伝えたいと思っています。任期終了後にはフォトグラファーとして開業し、地域に根ざした活動を通じて西都市の発展に貢献していくことを目標にしています。

## 活動内容

## ●フォトグラファー活動

専門学校と前職のウェディング業界での仕事のスキルを活かしてフォトグラファー活動を行っています。店舗のPR写真、イベント撮影、個人撮影を行っています。今後も自分のスキルを伸ばしながら仕事の幅を広げていきたいと考えています。



## ●Instagram運用

移住者目線で西都市の魅力を発信するInstagramアカウント、フォトグラファーの活動アカウント、協力隊の仲間の個人アカウント（サウナ店舗PR）を運用しています。Instagramを通じて海外の方へ西都市の魅力を発信しています。



## ●ビデオグラファー活動

フォトグラファーとして写真をメインで活動していましたが、着任2年目から映像制作の活動も行っています。店舗や地域のイベントの撮影を行い、西都市を映像でPRしています。



## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】  
<https://www.instagram.com/mtym.film/>  
[https://www.instagram.com//maruyama\\_child/](https://www.instagram.com//maruyama_child/)



MTYM.PHOTO



MARUYAMA\_CHILD

## 基本情報



【年 齢】  
27歳  
【出身地】  
宮崎県宮崎市  
【転出元】  
東京都八王子市  
【前 職】  
理学療法士  
【活動時期】  
R5.9～R8.3

## 協力隊に応募したきっかけ

就職を機に上京し、4年間東京に住んでいました。一度地元を離れたことにより、今まで気づくことの出来なかった宮崎市の魅力に気づくことができました。地元、宮崎市の地域活性化の為に、何かしたいと考えていたところ、地域おこし協力隊を知りました。年配者とコミュニケーションを取ることに慣れており、SNSを日常で積極的に使用している為、これまでの経験が生かせるのではないかと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

自治会活動における、自治会便の回覧や自治会員への連絡は役員の負担となっています。この負担を軽減し、自治会運営を効率的に進めるためにデジタル化が効果的です。デジタル化を導入することで自治会業務の効率化が図られ、役員の負担も軽減されます。私の仕事は、それぞれの自治会運営の状況に合わせてデジタル化の支援を行い、持続的な自治会運営につなげることです。

## 活動内容

●大炊田自治会（佐土原町）LINE方法操作説明会  
令和6年6月11日 大炊田自治会（佐土原町）11名にSoftbank株式会社と連携し、アプリ「LINE」を使って、自治会運営だけでなく、日常生活でも活用できるトークグループの作成方法や、投票機能の使い方について一緒に操作しながら説明を行った。



●花の森自治会 公式LINEの活用方法  
令和6年4月21日 自治会運営に自治会の公式LINEを導入するため、公式LINEについて説明会を行った。35班381世帯に回覧している自治会便を公式LINEを用いて、紙媒体ではなくオンラインで完結させて、自治会長及び自治会役員の負担軽減を図る事が目的。非常に熱心に聴かれており、30名以上が参加された。



●大宮地区自治会連合会 自治会運営のデジタル化  
令和6年9月19日 自治会運営における収支予算書及び決算書作成のため、エクセルの関数の活用方法について一緒にPCを操作しながら説明を行った。  
令和6年9月26日 自治会全体の連絡手段のため「LINE」のオープンチャットや「BAND」の紹介。集計や日程調整のためGoogleフォームの作成方法等を一緒にPCを操作しながら説明を行った。



## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) 01suisin@city.miyazaki.miyazaki.jp

(電話番号) 0985-21-1714